

三内丸山と

漆

—くらしを彩る技—

三内丸山遺跡センター特別展



⑥漆塗り土器
是川稲田遺跡
清水寺蔵、八戸市博物館保管
県重宝



⑧漆塗り土器
漆下遺跡
北秋田市教育委員会蔵



①漆塗り器
三内丸山遺跡
三内丸山遺跡センター蔵



⑦漆塗り土器
亀ヶ岡遺跡
青森県立郷土館蔵
風韻堂コレクション
県重宝



②木胎漆器
向田(18)遺跡
野辺地町立歴史民俗資料館蔵
重要文化財

2023.7.21(金) - 9.18(月)

会場 | 三内丸山遺跡センター 企画展示室
観覧時間 | 9:00~18:00 ※入場は閉館の30分前まで
休館日 | 8月28日(月)
主催 | 三内丸山遺跡センター

観覧料 | 一般 900円(720円)
高校生・大学生 450円(360円)
中学生以下無料

()内は20名以上の団体料金
※特別展観覧料で遺跡を含む常設展もご覧いただけます。



採集・狩猟・漁労を基盤として定住を開始した縄文人にとって、自然資源の利用は深く生活に根付いていました。漆利用の痕跡も縄文時代早期から見られ、縄文時代を通して技術が成熟していきました。三内丸山遺跡でも低地を中心に漆利用に関する遺物が出土しており、ウルシの管理から漆液の採取、製品の生産・利用までを行っていたものと考えられます。

本展は、青森県内の出土品を中心に漆製品や製作技術に関する資料を展示し、縄文時代の漆製品の特徴や技術について探ります。

1 | ウルシとは

ウルシの特徴、漆液の特性等について説明します。

漆塗り土器(三内丸山遺跡 三内丸山遺跡センター蔵)

2 | くらしを彩る漆

漆製品の移り変わりをたどります。

- ① 漆塗り土器(三内丸山遺跡 三内丸山遺跡センター蔵 重要文化財)
- ② 木胎漆器(向田(18)遺跡 野辺地町立歴史民俗資料館蔵 重要文化財)
- ③ 漆塗り櫛(三内丸山遺跡 三内丸山遺跡センター蔵)
- ④ 漆塗り土器(大石平遺跡 青森県立郷土館蔵 重要文化財)
- ⑤ 漆塗り土器(亀ヶ岡遺跡 青森県立郷土館蔵 風韻堂コレクション 県重要)
- ⑥ 漆塗り土器(楚川堀田遺跡 清水寺蔵 八戸市博物館保管 県重要)
- ⑦ 漆塗り土器(亀ヶ岡遺跡 青森県立郷土館蔵 風韻堂コレクション 県重要)

3 | 漆と赤と黒

漆製品の製作技術を探ります。

- ⑧ 漆液容器・赤色顔料容器(三内丸山遺跡 三内丸山遺跡センター蔵)
- ⑨ 漆塗り土器(漆下遺跡 北秋田市教育委員会蔵)
- 石皿(土井(1)遺跡 板柳町教育委員会蔵)
- 漆塗布(中山遺跡 五城目町教育委員会蔵 秋田県指定有形文化財)

4 | 漆と人のつながり

弥生時代以降の漆と人とのつながりを概観します。

- ⑩ 盾状木製品(垂柳遺跡 田舎館村教育委員会蔵)
- 烏帽子(米山(2)遺跡出土 青森県埋蔵文化財調査センター蔵)
- 唐漆箱(青森県立郷土館蔵)



参加無料 同時開催

7/30日
10:00-11:30

特別展開連講座①

テーマ「青森県の漆利用」

定員 30名(事前申込制) 講師: 当センター職員

8/26日
10:00-11:30

特別展開連講座②

テーマ「縄文人と漆」

定員 30名(事前申込制) 講師: 岡田康博(当センター所長)

9/2日
10:00-15:00

さんまる縄文体験

「粘土のアクセサリをつくろう」

定員 20名(事前申込制)

9/9日
10:00-11:30

特別展開連講座③

テーマ「現代の漆工からみえる縄文漆の魅力」

定員 30名(事前申込制) 講師: 斎藤和彦氏(日本文化財漆協会常任理事)

※講座・体験への参加時に遺跡や展示を見学される場合は別途観覧料が必要です。 ※申込方法等詳細は三内丸山遺跡ホームページをご覧ください。



お問い合わせ

三内丸山遺跡センター

TEL.017-766-8282

〒038-0031 青森県青森市三内字丸山305

